

新ゲーム「ジャンゴ」

本発想は五目並べと麻雀を組み合わせた形の新しいボードゲームです。

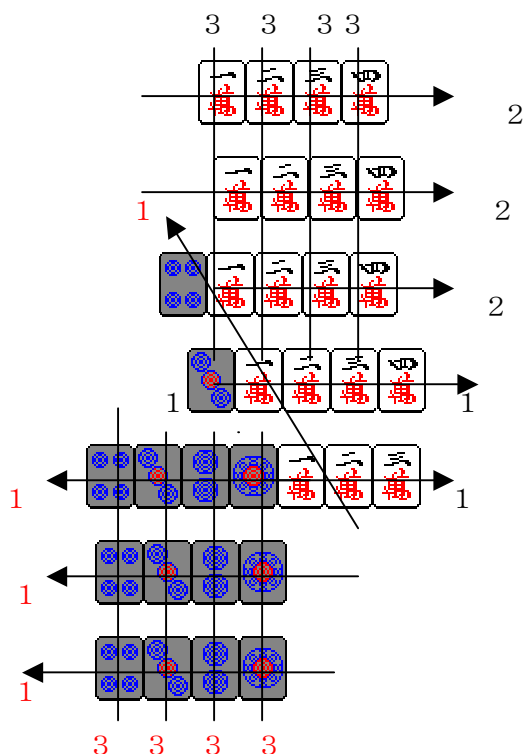
使用する駒は便宜上麻雀と同じに致します。碁盤と同じ様に升目を12×12で144引いた盤を作成し、交点に駒を置くようにします。

駒は裏と表で色を替えて同じ模様にし、駒が見えない様に積み上げて置き交互に駒を引き出したら任意の場所に置いて行きます。得点は下記の様なルールで加算します。

矢印は順通で3枚目から1点加算、1枚増える毎に1点ずつ増えます

ラインは同数並びで3枚で3点、4枚以降2点ずつ増えて行きます

斜めも加算します。



この得点の他にオプションで役を作る事も出来ます、但し此れだけだと互いにコースの潰し合いに終始してしまう可能性があり、興味をそがれますので特別な駒として「R」リザーブと呼ぶ駒を設定します。この駒はバレーのサーブ権の様に得点したプレイヤーが任意の場所に置く事が出来ます、但し次にこの駒を移動できる（予約した場所に置く事が出来る）のは得点を得る場合のみで相手が先に得点した場合には権利が移動します。

このゲームは現在多数ある麻雀系のゲームに無い知的な考察を必要とし、その上に偶然の要素を取り入れた全く新しい発想のゲームです。問題はこの方式が「特許」としてどの様に権利を確定できるのかと言う事ですが意匠としては元々合ったものですし、変えても本来の遊び方の問題ですので幾らでも変化します、点数の付加の仕方、盤の構造等々権利関係を縛るほど抜けが出そうな気がします。